

8-4-29 政策・事業評価専門委員会

1. 主な活動の記録

(1) 活動目標

当専門委員会は、主に道路系・河川系の計画系業務に関連する政策や事業評価に関する内容を取扱うものとし、セミナー等の企画・開催、各種政策の最新動向把握や事業評価制度の検討、政策が展開されている現地の踏査・研究を通じ、協会員や委員の実務的技術習得と技術水準の向上を目的としている。

(2) 専門委員会の開催

- a) 専門委員会の開催回数:5回(WGは適宜開催)
- b) 3つのWGによる活動
- c) セミナー1回と現地視察1回を実施

(3) セミナーWG活動

河川、道路分野を中心に事業評価や政策評価に関わる最新動向を収集・整理し本委員会の場での情報提供とセミナーの企画・開催を行った。

a) セミナーテーマ:「動き出した流域治水、その本質と実効的具體化に向けた課題を論じる」

① なぜ流域治水なのか?～行政行為全般の歴史的転換の一環として～

- ・今求められる行政の基本姿勢の転換
- ・考えるエンジニアに変身はできるのか?など

② 流域治水～公平性とリスクマネジメントのジレンマ～

- ・流域という「場」をどのように捉えるか?
- ・流域圏における合意形成の進め方など

b) 講師2名の講演とパネルディスカッション

- ・政策研究大学院大学 家田 仁 特別教授
- ・東大大学院工学系研究科 知花 武佳 准教授
- ・パネラー:講師2名と建コン委員から2名

c) 開催日時:

令和3年12月16日(木) 13:30～16:40

d) 会場:WEB開催(事務局は外部会議室)

e) 参加者数:283名(事前申し込みは386名)

なお、講師の要望により、主催を社会マネジメント技術委員会とし、国土基盤技術委員会の協賛、事務局と費用負担は当専門委員会という形

での開催となった。

また、本セミナーの動画については、編集後にCPD推進専門委員会へ提出した。

(4) 政策評価WG活動

令和3年度は、国交省で積極的な施策展開がなされている「交通結節点」や「ほこみち」に着目し、国内における取り組みや導入事例などをとりまとめて委員会内で共有すると共に、12月には関西(奈良、大阪、京都)を中心に現地視察を実施した。

(5) 事業評価制度WG活動

今年度は下記5項目に関する動向把握調査を中心に各地整の事業評価監視委員会の開催動向、整備効果の内容に関する結果をとりまとめた。

- a) 事業評価手法に関する調査
- b) 事業評価に関する勉強会の企画検討
- c) 事業評価制度に関する動向把握
- d) 整備効果に関わる動向調査
- e) DXに関する先進事例調査

2. 次年度の活動について

セミナーWGは、政策・事業評価等に関する最新情報・話題等を基に、道路分野、河川・港湾分野を中心としたセミナーの企画・開催を行う。

また、それら分野に係る政策・事業評価に関する最新の話題・トピック等の情報を幅広く収集し、委員会場で共有する。

なお、来年度のセミナーについては、道路交通系をテーマでの実施を想定している。

政策評価WGでは、先進性・全国拡散性の視点から、国土交通省審議会等の動きを調査し、着目すべき施策(スマートシティやシェアリングや新たなモビリティ、グリーン社会など)を選定し、それら施策について現地視察を念頭においた詳細の情報収集・整理を実施する。

事業評価WGでは、事業評価制度や事業評価関連マニュアルに関する調査、全国各地整の事業評価監視委員会の動向、整備効果やDXに関する事例・動向調査等を実施する。

(政策・事業評価専門委員会委員長 篠崎 毅)